

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	「文武両道」と「組織で勝つ」をスローガンとし、人権尊重と生命尊重を柱とした教育実践により、自らの生活を豊かにする活力ある生徒を育成する学校
○児童・生徒像	「磨く」、「挑む」、「思いやる」の生徒行動指針の下、自分のよさや特性を理解し、新たに定めた目標を実現しようと努力する、自他の違いを認めそれを尊重する心をもった生徒
○教師像	仕事への責任感と使命感あふれる気持ちを持ち、組織を大切にし、組織で職務に当たり、一人一人の生徒に寄り添い、「やさしく、厳しく」指導できる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

生活指導の徹底が基盤となり、はじめと明るさが両立した学校生活である。生徒行動指針「磨く」「挑む」「思いやる」が生徒・保護者・地域社会に浸透し、学習活動や学校行事に熱心に取り組む姿勢が見られる。

(1) 生徒について

目的意識をもち、明朗快活な生徒が多い。しかし、一部に人間関係づくりができないなど学校生活に馴染むことができずに不登校となる生徒や問題行動等で教育相談を受ける生徒もいる。

(2) 教職員について

公務員としての職務を理解し、強い使命感をもって、熱心に生徒指導や部活動指導に当たる教職員が多くいる。しかし、ここ数年で若手教員が増加し、年齢のアンバランスがある。

(3) 保護者・地域社会について

多くの保護者は、本校の教育活動を理解し連携した指導を行っている。しかし、一部に教育力の低い家庭があり、生徒の基本的な生活習慣が確立されていないなどの課題もみられる。

地域は、開かれた学校づくり協議会が中心となり、教育の向上を図っている。特に、PTAはもとより足立九中後援会や「おやじ・おふくろの会」は、教育活動推進で物心両面の支えとなっている。

2 成果と課題

(1) 成果

学習面については、自主的に学習する態度を養う取組や朝学習の充実、ESL等の取組により低学力層の改善傾向が見られた。

豊かな心の育成については、挨拶や礼儀・マナーの推進、学校行事等における生徒の主体的な運営、ボランティア活動や部活動の推進等により、生徒の自己肯定感が高まった。

体力や活力については、生活・運動習慣の指導、元オリンピックやプロスポーツ選手との交流、食育の充実等を通して、83.3%の生徒が体力の高まりを感じ、86.0%の生徒がスポーツに関心をもった。

また、小中連携教育では、主体的・対話的で深い学びに関する授業改善と、系統的な規範意識を高める指導の取組について合同研究を行い、研究冊子にまとめ発表会を実施した。

(2) 課題

ア 学力調査の分析と授業改善、個に応じた指導の充実、OJTの充実による教員の授業力向上、学習コンテンツの実施と振り返り、家庭との連携強化などで主体的に学ぶ態度の育成を行っていく。

イ 行事等における自主的な運営の充実、社会貢献活動の推進、スマートフォン等の使用の自己抑制など、思いやりの心や自律の態度を養い、生徒の自尊感情や自己肯定感を一層高めていくことが課題である。

ウ 東京都教育委員会スーパーアクティブスクールの研究成果を生かし、活力ある生徒の育成や体力向上に関する取組を一層推進するとともに、足立区や東京都全体に普及・啓発することが課題である。

4 重点的な取組事項						
番号	内容	実施期間				
		28	29	30	31	32
1	学力向上：確かな学力を向上させる。	○	○	○	○	○
2	健全育成：思いやりを中心に豊かな心を養う。	○	○	○	○	○
3	体力向上：自らの生活を豊かにする活力ある生徒を育成する。	○	○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－1	確かな学力を向上させる。				
A 今年度の成果目標	平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標				
自ら主体的に学ぶ力の育成と基礎的基本的な学習内容の定着	通過率65%を目指し、 学習に努力した生徒85%以上 家庭学習1時間以上65%以上				
B 前年度の取組み内容					
項目	具体的な方策				
基礎学力の定着	朝学習の充実や学習コンテストの実施による基礎学力の定着				
授業改善の充実	校内・外研修や小中連携による研究授業等による授業力向上				
学習カウンセリングの推進	個別面談や指導や三者面談を通じた学習カウンセリング				
補充的学習の充実	ESLやサマースクール等、関係機関と連携した学習機会の拡大				
主体的な学習機会の提供	教え合い活動や各種検定へのチャレンジ等の推進				
学習習慣の確立	授業での課題提供や家庭との連携による学習習慣の確立				
C 前年度の成果と課題					
<p>区学力調査では、学校全体の生徒の通過率が55.6%と過去最高の昨年より9.3ポイント低下した（区全体は9.2ポイント低下）。学力調査からは二極化傾向が見られた。また、12月に実施した生徒の自己評価から、学校での学習に努力している生徒は84.9%であるが、家庭学習を1時間以上行っている生徒は56.8%と低い数値であることが分かった。</p> <p>今後は、個に応じた指導の充実による基礎学力の向上と主体的に学習する態度の育成により、一人一人が課題をもって学習に取り組み、自己の課題を解決していく授業づくりや補習の工夫などを行う。また、授業における指導や家庭との連携強化等により、学習習慣の確立を図っていく。</p>					
D 今年度の目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」 参照 </div>					

重点的な取組事項－２	思いやりを中心に、豊かな心を養う。
-------------------	-------------------

A 今年度の成果目標		達成基準
思いやりなど人間的な豊かさを養い自己肯定感の向上		生徒自己評価で自己肯定感75%以上 人のためになる活動80%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
道徳教育の充実	他者とよりよく生きる基盤の道徳性を養う	授業改善により「考える道徳・議論する道徳」を実施する。
学校行事等における生徒の主体的な運営	生徒自己評価：人のためになる活動80%以上	行事の実行委員会、係活動などの役割や立場の明確化と主体的な活動の推進
小学校との交流や社会貢献活動の推進	生徒自己評価：行事での頑張り90%以上	小学生の中学校体験、中学生の小学生学習支援、社会貢献活動の推進

重点的な取組事項－３	自らの生活を豊かにする活力ある生徒を育成する。
-------------------	-------------------------

A 今年度の成果目標		達成基準
体力を高め自らの生活を豊かにする活力ある生徒の育成		学校生活に満足90%以上 体力の高まり感80%以上 運動・スポーツへの関心80%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
体力向上	体力の高まり感80%以上 運動・スポーツへの関心80%以上	投力を中心とした体力向上の研究、授業改善、関係機関との連携
部活動等への積極的参加	生徒自己評価：部活動等での頑張り90%以上	部活動の教育的価値の理解、部活動を通して挨拶や礼儀、リーダー育成
小中一貫教育の視点に立った教育活動の充実	生徒自己評価：学校生活に満足90%以上	学習や規範意識に関する体系的指導の充実